

平成27年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第1学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校既習漢字が定着していない。 ・文章を読み解く力が弱い。 ・他の人の話を聞こうとする姿勢が低い。 ・書く力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校配当漢字のテストを毎時間行い、復習する習慣をつける。 ・視写課題を通して、文章を読み解く力、書く力を養う。 ・グループ活動を通して、話を聞く態度、話し方を考えていく。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算問題の習熟 ・学習習慣の定着 ・数学的な思考や表現する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算問題に数多く取り組ませる。また、間違えた問題にはやり直し等をさせながら自分の間違えやすいクセ等に気付かせる。 ・課題等を多く出し、授業外でも学習する機会を多くつくる。 ・課題を共有するような数学的活動に取り組む機会をつくり、考えを互いに伝え、共有する場をつくる。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識の習得。 ・発表や説明を求める場面で、具体的に表現したり、伝えるなどの言語活動の充実。 ・記述問題で字の間違いが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業だけでなく、家庭学習によって反復して学習させる。 ・発言する際のルールを明確化する。誰もが分かるように発言し、できなかった場合はやり直しさせるなど、徹底させる。 ・テストの際、間違え直しを実践させ、正しい漢字を身に付けさせる。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に課題を解決しようとする姿勢が低い。 ・観察、実験の結果に対する考察ができない生徒が多い。 ・基礎的、基本的な知識、技能の定着率も低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定を工夫し、グループ活動なども取り入れて、生徒たちが自ら考えて解決する場をつくる。 ・観察、実験結果の考察の仕方について、適切な助言を行って、文章で表現できる力を身につけさせる。 ・問題集などを活用して、復習の機会を多くつくる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守り、主体的に学習に取り組む姿勢の育成 ・より音楽的な表現を探究する姿勢の育成 ・基本的楽典の知識 ・楽器の扱い方の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいを明確に示し、具体的な活動内容を提示することにより、主体的に学習に取り組むことのできる環境をつくる。 ・視聴覚教材を活用し、良い演奏を聴かせる。 ・楽譜をよく読んで歌う習慣を身に付ける。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具や、はさみ・のりといった身近で生活に密着した道具を、安全に的確に使いこなす力の低下。 ・自国、諸外国の美術の歴史と美術文化を学ぶ機会の減少。 ・日常生活の中に様々な美術的要素があるという視点の不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具を使用するデザインの題材を設定し、塗る順序や塗り方の技能などを細かく板書・掲示し、実演も含めて指導する。また、コラージュの題材を通して、はさみ・のりの適切な扱いを学ばせる。 ・美術史をタイムトラベル形式で疑似体験させる授業を通して、歴史や美術文化に興味を持たせる。 ・プロダクトデザインを授業に取り入れ、日常生活と美術の密接な関わりに気付かせる。 	
保健体育	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律に課題がある。 ・場面による行動の判断力が足りない。 ・基本的運動能力が低い。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎運動能力が低い。 ・競争心が低い。 	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団行動訓練を継続する。 ・行動基準を明確に示す。 ・準備運動を工夫し、体力向上に努める。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップ、補強運動、ダッシュ、メイン練習等で運動能力向上を図る。 ・ゲームを通して向上心、競争心を育てる。 	
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や工具を使う経験の不足 ・バーチャルな世界での体験が多く、実体験が不足しており、手先を使った作業が苦手。さしがね等で水平、垂直を意識して線を引くことも、能力差が大きい。 ・図形を頭の中で想像し、回転させた姿を想像することが苦手な生徒が多い。 <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な道具を正しく安全に使う意識の不足。 ・落ち着いて授業に取り組む姿勢が不十分。 ・図や見本を見て製作することができない生徒が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や工具を使用する時に、授業のねらいを明示した上で、実物投影機などで工具の使い方を説明するなど説明の工夫を行った。 ・製図の内容を扱う授業で、CADでモデリングした3Dの図形をモニターに写し、例年よりもわかりやすく製図の授業を行うことができた。 <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な取り扱いとミシンの構造などを理解させ、自分で扱う事を多くする。 ・その日の目標を確認して授業に取り組ませる。 ・より身近に回数を多く指導し自分の考えを表現させる。 	

外国語 (英語)	<ul style="list-style-type: none">・授業内で英語による指示を受け、理解することが苦手。・文字と音を関連付けてとらえる力の不足により、正しいつづりで語彙が身につかない。・継続的に学習し、積み上げていくという習慣が身についておらず、学習方法を知らない生徒が多い。	<ul style="list-style-type: none">・日常的にクラスルームイングリッシュを使い、動作を伴った指示を出すことで理解の手助けをする。・フォニックスを時間をかけて学習する。また、難しい単語はフラッシュカードを見ながら、一音ずつ分解して発音してからつなげる練習を取り入れる。・毎週単語テストを行い、各自が最適な練習量や方法を見つけられるように習慣づける。	
-------------	--	---	--